



United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

第16回 KAIRIN ユネスコ杯ドッジボール選手権大会

4月29日(火)、佐野市運動公園・アリーナたぬまの2つの会場におきまして、「第16回 KAIRIN ユネスコ杯ドッジボール選手権大会」を開催致しました。開会式では、開倫ユネスコ協会名誉会長であり衆議院議員 茂木敏充様の秘書様、参議院議員 上野通子様秘書様、群馬県および埼玉県のドッジボール協会役員様など、多数のご来賓の方々にご参加いただきました。

会場では、60チームの参加があり、大変な熱気と盛り上がりにも包まれ、すばらしい大会となりましたことに、心から感謝申し上げます。当日は、選手の皆さん、保護者、監督・コーチの方々、審判の方々、スタッフの皆さんなど参加人数は合計で約2,500名でした。また、午前中アリーナたぬまの補助コートでは『初心者講習会』も開催されました。約30名の参加者は、指導者にあられた栃木県ドッジボール協会の粕川理事長の指示に従って、さまざまな講習メニューを体験し、楽しくドッジボールの基礎を学ぶことができました。

各会場では、特別のイベントとして、開倫ユネスコ協会が8年に渡り支援させていただいている「ルワンダの教育を考える会」（福島県）から貴重な写真パネルをお借りし、2つの会場の玄関や通路などに掲示させていただきました。各参加チームから多くの温かいご支援をいただきました。ありがとうございます。本大会において各チームよりお預かりしました、書き損じはがき(145枚)と募金(10,327円)は、当協会が責任をもって日本ユネスコ協会連盟ならびに「ルワンダの教育を考える会」へお届け致します。

最後に、開催にあたりご尽力頂きました皆様、ご臨席頂いた皆様、参加チームの皆様、そして日頃より開倫ユネスコ協会に温かいご支援を頂いている皆様から心から深くお礼申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。



選手宣誓



白熱した試合の様子

特別企画展「ルワンダの教育を考える会」写真展

今年のドッジボール大会では、8年前から開倫ユネスコ協会とかかわりのある「ルワンダの教育を考える会」への支援をさせていただくため、特別企画展を開催することとなりました。当日、学園内の子供たちの様子の写真「展示コーナー」や「募金箱」を用意させていただきました。参加チームの監督さん、コーチさん、保護者の皆さん、栃木県ドッジボール協会役員の皆さん、審判団の皆さんなど多くの方々にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

ルワンダの教育を考える会 理事長

永遠瑠・マリールイズさんのごあいさつ

私はルワンダの内戦という辛く悲しい体験の中から命の尊さ、平和の大切さを身をもって学びました。戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子ども達に、教室で学ぶことにより、夢を取り戻し 永遠瑠・マリールイズさんで欲しいという願いのもとに、ルワンダのキガリに念願の学校建設を継続中です。学校名は**ウムチョムウイーザ学園**といます。

現地ルワンダでは、兄チャールズが中心となり「ADESOC」というNGOを発足させ、学校の運営と教室の増設をしております。「ADESOC」と本会はお互いを現地事務所と考え、力を合わせて活動しています。(中略)これからも、皆様のご理解と協力をお願いします。
(ホームページより引用)



ウムチョムウイーザ学園内の様子